

大阪の救済事業

【解題】

大正二年三月博士の大阪府へ招聘當時府の内外に互りて視察を行へる博士の精細なる観察眼に映じたる約四十年前の救済施設の現状を概記せるものである。儲むらくは精密なる時日も、發表せる東京の新聞名も未詳であつて僅かにスクラップ・ブックの中の一資料に止まるのであるが、後年に於ける大阪府は勿論關西地方に於ける斯業發達の状態を對照する上に於ける最重要の文獻の一として敢て本選集に採取することにしたのである。博士に依ると、大阪と東京とは、當時に於て斯業の發達に於て地方的特色の著しいあらはれが有ることを看過することが出來得ぬといふところに本資料の大趣意が存するのである。

今度大阪府に於ける救済事業の指導監督と云ふ様なことを擔任することになつて大阪へ行つて居ります。爾來未だ日も幾く視察も行届いて居りませんが、今日迄に見聞した概略に就て今こゝにお話して見やうと思ひます。

其の第一は貧民住宅の改良であります。大阪に於ては近來貧民住宅の改良が行はれて餘程面目を改めた。之れは警察令で以て、貧民長家を持つて居る家主に對し其の改良を行はしめたのであつて、今日では東京の貧民窟に於て見る

が如き状態の不潔不良の長家は見られない様になつた。にも係らず、改良が實現した後の家賃が其の割合には高くなつて居らぬ。尤も之れが爲めに貧民が郡部へ轉じた者もないではない。が、其数は多くない。大阪に於ける此の經驗に依つて見れば貧民の住宅改良は公共團體の經營として適らなくても、民間の事業として十分出来るといふことが分つた。是は東京市邦に於ても大に参考になることと思ふ。

それから大阪に於ては乞食の爲に一の授産場が設けられて居つて、それが爲めに浮浪の徒の徘徊する數が近來非常に減少した。之れは先年博覽會の開かれた時、乞食が市内に澤山居つては市の體裁にも關し、又は各國から多く入込む旅客に對して迷惑を懸ける心配があるといふ點から、市内の乞食を驅り集めて妄に徘徊せしめないやうにしたいといふことが一つの動機となつて土地で有名な老俠客小林佐平と云ふ人が私設の收容所を作り警察と聯絡をとつて乞食を見付次第に此處に收容し所内で生活をしつゝ夫々仕事をさすると云ふ組織を創め、之を小林授産場と稱して居つた。小林氏は本年八十四歳の老人で、一片の俠骨から之れを經營し、約拾萬圓の私財を投じたさうである。今度此の授産場を弘濟會が五萬圓で譲受け、同會の經營に移して内部にも大改良を加へて居るが、恁ふ云ふ事業は外には多く見ない例であつて、大阪に於ける救済事業の一特色である。

第三に述べたいのは警察方面の熱心である。現在大阪に於ける救済事業の一特色として警察官が熱心に救済事業に盡力しつゝあることである。市内に警察本部を始め數個の警察署があるが、何れもが救済事業の中心の據になつて居つて、何か仕事を遣らねばならぬと云ふ風に競争的に働いて居るのは何よりの事である。府の警察本部保安課が従事する救済事業は感化院の監督であるが、其の外にも自彊館といふ獨身労働者を宿泊させる寄宿舎を作り、表面は一個人

の經營になつて居るけれども、實際は警察本部でやつて居る。第一館の收容能力は現在三百人ばかりであるが、尙ほ百五十人位は收容し得る餘裕がある。近く第二館を設ける筈になつて居つて、家屋だけは已に準備が出来て居るが、此の方は、家族持ちの労働者を收容する目的である。

又と同じく警察本部内の衛生課に於ても協力して結核豫防の方法を計畫中であるが、東西南北の各警察署は何れも救済事業の爲めに盡して居らないところはない。難波警察署は地區及び少額所得者の改善に盡し管内に二ヶ所の夜學校があつて、一を徳風小學校、一を有隣小學校と云ひ、兩校共に教養を兼ね行ひ、又た浴室の設けがあつて、生徒の父兄も入浴が出来ることになつて居る。會根崎警察署に於ても地區の改善及び少額所得者の子供の爲に整頓幼児保育場を設立し、九條警察管内には盲人保護協會と云ふのがあつて、協會が盲人の爲の學校を經營し、富豪と警察とが其幹旋に當つて居る。又た九條警察署に於ては浮浪者や失業者に便宜を與へて夫々歸國せしめて居るが、其の費用は管内に一人の篤志家があつて毎月三四十圓を寄附し歸國旅費の補助に充てゝ居る。中には歸郷後禮をいつて旅費を返却して来る者も大分あるから毎月三四十圓あれば失業者や浮浪者を随分歸國せしむることが出来るさうである。又南區の警察署管内では、最近に或る篤志家が慈善夜學校を開設し六十人ばかりの生徒が通學して居る。此の篤志者と云ふのは、仲仕から仕揚げて一代に相當の資産を作り、公共の事業に盡力して居る名望家である。

最後に擧げたいのは大阪の富豪間に救済趣味が普及して居ることである。そして遣の趣味が富豪のみでなく、段々生活に多少の餘裕ある中流以上の人の間にも行はれ來つたことである。新聞に悲惨な記事が出ると或は新聞社に託したり、或は直接に金品を贈つたり或は警察や區役所へ持参すると云ふことが盛んになり、救済趣味の向上が著るしく

認められる。近く藤田家に於て八萬圓を市長に提供し、適當の救済事業の設置に充てんことを申込み、市では其の利子を各種の救済事業の補助費に充て居るが如き、新田長次郎氏が一の貧民學校を創設したが如きは何れも富豪の美事徳行であるが、最近住友家に於ても適當の救済事業があれば出金し度いと云ふことで目下其の方面を調査中である。既に住友家では毎月四五十圓宛を出金し藍染橋の畔の保育場兼夜學校の經營に宛てゝ居る。かゝる風潮がもう一段行きすれば大阪に於ける斯業の辭興は期して待つべきであらうと考へる。

尙他の一つの特色として擧ぐべきものに救済事業の上に加へられて居る婦人の力がある。林歌子女史の經營して居る婦人ホーム、淨土宗尼僧の經營せる累徳夜學校、淨土宗信者である某富豪の夫人が經營せる心華夜學校（貧民夜學校）の如きがそれである。又た愛國婦人會も他の地方では活動が鈍いが、大阪では授産場坪を作つて盛んに活動して居る。林女史は婦人ホームに於て婦人の職業紹介、墮落婦人の救済等に努むる外博愛社といふ育兒院にも力を入れて居る。前記の心華夜學校を經營せる女性の如きは信仰心も厚く、慈善狂と云はるゝ程救済事業に熱心なるを以て聞こえて居る。

社會事業研究會は大阪に於ける斯業の一大特色をなすものであるが、これは在上者の努力を示す一の好い例である。府知事の救済方面に力を入れられるは並大抵の事ではなく、知事の官宅に於て毎月一回、出来るならば二回宛當業者及び之れに興味を有つて居る人々に依つて研究會が開かれ、無論知事も萬障を排して出席される。恚う云ふ風に大阪に於ては警察の活動、富豪の救済趣味、婦人の活動等各種の條件が具備して居るから、若し當局の措置其宜しきを得たならば斯業の發展は前途大に見込があるだらうと思ふ。

序でに一言して置きたいのは、大阪に於ける救済事業を見る實際經營の術に當つて居る者は基督教徒か或は基督教主義の人が大部分であつて佛教の信仰から働いて居る者が極めて少い。それでありながら事業資金として巨額の經費を負擔して居る者は主に佛教の信仰に生きる人々であるといふのが、間違のない事實である。言を換へて云へば佛教の信徒が金を出して基督教の人が事業を經營して居ると云ふ有様である。前に話した仲仕から仕揚げて慈善夜學校を作つた人の如きは熱心な眞宗の信者であつて亡父への報恩の爲めに出金したと云ふことであるが、之れは相即融通の妙相であつて誠に意味の深い一つの事象であると常に自分は考へて居る。